

西公園と緑の相談所

能勢の土、奄美大島の熱帯植物、市民からの寄贈 … 人の善意と願いが今に至る

上坂部西公園は、都市緑化植物園として木や草花の緑化を特色とする公園です。もともと、ここは工場移転の跡地で、1970年から市は公園にしたいと考えて、一部の土地を先行取得していました。そして1972年に都市公園計画を正式決定し、順次用地買収に取り組みました。その間、失業対策事業としての転換を図る際に、育苗園として使用したいとの申し出がありました。が、工場跡地でコンクリートの残骸が地中に残った上に、土質は粗悪でした。そこで、栽培用の土を探すこととなりました。能勢の国道工事で残土処理に困っているとの話を聞き、調べたところ幸いにも、良好な山土でした。そこで、この土を運んで約1m程の盛土をしました。不要な雑石やコンクリート片は、その下に埋めることになりました。このようにして、良好な環境の育苗園が完成したわけです。

上坂部みどり園として開業した育苗園は年間5万本、最盛期には16万本の花苗を育成し、社会に貢献し市民にも喜ばれました。失業対策の補助事業として、栽培用の温室や展示室が完成し、当時交流関係にあった奄美大島名瀬市から、ガジュマル、マンゴー、ヘゴシダなどが贈られ、熱帯温室の展示としました。その他にも、サボテンやバナナ、コーヒー、ペゴニア等が各方面や市民から寄贈されました。

ここまでは育苗や街路樹の育成をメインに展開をしてきましたが、事業が軌道に乗ったところで、市民の活用や憩いの場としての公園づくりにも着手することとなりました。そして、1975年に市民への一般公開が始まりました。植物展示場として使用されていたプレハブ小屋を利用して、1977年には、念願だった緑の相談事業および緑化普及講習会会場を開設することができました。これが緑の相談所の始まりです。阪神間の都市緑化モデル事業として、引き続き整備が進められ1981年本格的なオープンに至りました。



上坂部西公園 失業者対策事業の一環として造成開始
左手に見えるのは、上坂部小学校体育館と校舎



上坂部 緑の相談所 オープン プレハブながらも念願の開所に喜びもひとしお (昭和52.5.24)



上坂部草花苗圃 鍬入れ式 昭和47.3.3

緑の相談所にせむらひ

上坂部西公園の緑化事業は、市民の活用や憩いの場としての公園づくりにも着手することとなりました。そして、1975年に市民への一般公開が始まりました。植物展示場として使用されていたプレハブ小屋を利用して、1977年には、念願だった緑の相談事業および緑化普及講習会会場を開設することができました。これが緑の相談所の始まりです。阪神間の都市緑化モデル事業として、引き続き整備が進められ1981年本格的なオープンに至りました。

水遊びの設備
水遊びの設備は、上坂部西公園の緑化事業の一環として、市民の活用や憩いの場としての公園づくりにも着手することとなりました。そして、1975年に市民への一般公開が始まりました。植物展示場として使用されていたプレハブ小屋を利用して、1977年には、念願だった緑の相談事業および緑化普及講習会会場を開設することができました。これが緑の相談所の始まりです。阪神間の都市緑化モデル事業として、引き続き整備が進められ1981年本格的なオープンに至りました。

緑の相談所
緑の相談所は、市民の活用や憩いの場としての公園づくりにも着手することとなりました。そして、1975年に市民への一般公開が始まりました。植物展示場として使用されていたプレハブ小屋を利用して、1977年には、念願だった緑の相談事業および緑化普及講習会会場を開設することができました。これが緑の相談所の始まりです。阪神間の都市緑化モデル事業として、引き続き整備が進められ1981年本格的なオープンに至りました。

緑の相談所完成

園芸関係図書を備える
展示・講習会に利用を

上坂部西公園(真家町) 示会をうて展示室を設けて
二丁目)に、設けも新たに
「緑の相談所」が完成し、
八月四日にオープンし、
す。緑の相談所は、建築面
積三百八十五平方、建物
延べ面積四百二十一平方
延べ面積四百二十一平方
上二階、地下一階建てで
す。一階は、緑化の映画会
講習会に利用できる約百
人収容の集会室や、各種百
花園図書約五百冊を備え、
地下一階には、花木類の展
示室を設けています。

記念行事
八月四日午前十時から
午後四時、観葉植物展
覧会、七月、二十日午後
一時半、サボテン、
多肉植物の「夏の管理と
夏越しの方法」について
の講習会を旧の相談所で行
います。参加費無料。

四時、観葉植物展
▽四日、九日午前十時、
午後四時、観葉植物展

阪神線 上坂部駅
山手幹線
上坂部西公園
緑の相談所
428-1055